

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	防災・減災意識を高めよう！～武庫女生による防災・減災を知る教材作り～			
申請大学・高校等名	大学及び 高校等名	武庫川女子大学		
	活動 グループ名	教育学科 吉井ゼミ	参加学生 等人数	8人
指導責任者名 及び連絡先	学部・学科等 名称	教育学部 教育学科		
	責任者氏名	吉井 美奈子	連絡先 電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	モコモコ倶楽部		
	代表者氏名	小林 三枝子	連絡先 電話番号	
	E-mail			
教育・研究活動 目標	尼崎市と本学は近い場所にありながら、尼崎市方々と関わる機会が少ない。しかし、一日の大半を大学で過ごすことを考えれば、災害が起きることを想定した場合、尼崎市との連携を踏まえた防災・減災意識を高めておくことは大切である。そのため、大学近くの子どもたちや地域の方々と共に、防災・減災意識を高めることも必要である。昨年度までモコモコ倶楽部での子どもたちや支援者の方との関わり合いの活動を通じて、地域における学生ら自身の役割や関わり方の大切さを感じることができた。本年度は、新型コロナウイルスの流行によって活動が制限される中、集中豪雨などによる災害も増えており、リモートでも活動することが必要だと考えた。地域の方々や子どもたちの防災・減災意識を高めるための資料教材等を作成し、実際に体験するなどを通じて意識を高めることを目標とした。			
活動内容及び 実績、評価	<p>(活動内容及び実績)</p> <p>コロナ禍で活動時間が限られていたが、遠隔(ZOOM や LINE)による相談を重ね、少人数による対面での相談などを通して、尼崎市の子ども達が喜んで遊びながら学べるスゴロク制作を行うことができた。週1回のゼミ時間以外にも、適宜必要な時間に相談する時間を設けるなど、活動を進めることができた。</p> <p>活動の内容については、次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>①防災・防災意識を高めるための子ども向け教材の検討</li><li>②教材の下案を作成し、印刷会社へ相談・打合せ</li><li>③完成した教材(スゴロク)を活用した子ども向けイベントの計画</li><li>④③の準備・打合せ・実施</li></ol> <p>完成した教材(スゴロク)については、尼崎市へ提供し、データ提供も行う予定。</p> <p>(評価)</p> <p>学生らは、コロナ禍の限られた環境や時間の中で、工夫をしながら教材の検討を行い、スゴロク以外にも子ども向け「防災ポシット」の作成を検討した。また、尼崎市の子ども食堂(モコモコ倶楽部)にてイベントを実施、モコモコ倶楽部の代表の方、ボランティアの方々からも高評を頂いた。指導教員としては、子ども達への実施について、回数を重ねることができなかつたことは残念であったが、短い期間に様々なゲームの特性を知り、スゴロクの中に防災・減災の知識だけでなく、尼崎市の特徴を含めるなど、工夫を凝らすことができたと考えている。</p> <p>また、尼崎市のキャラクターを活用するなど、子ども達以外にも興味を惹くような工夫がされており、実施したイベントの子ども達も楽しそうに過ごしていたことも印象的であった。また、子ども達は繰り返しスゴロクで遊ぶことを楽しみにしていたり、防災ポシットを作ったりするだけでなく、「震災の時は・・・」と、自ら語りだすなど、防災・減災意識を高めることの一助となったと考えられる。イベントには、モコモコ倶楽部の方々や朝日新聞社の記</p>			

者さんなども見学に来て下さり、子ども達の様子を見ながら、本年度はイベント実施が少なかったことや、防災・減災の取り組みについて話されていた。さらに、学生らは教材作りを通して、尼崎市の地域について知ったり、イベントを通して子ども達のことを知ったりして、大学の近くにある地域であることを認識し、子ども達の関わり方などに興味を持ったようであった。

(活動写真は、枠外に示す)

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。

